

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873400378		
法人名	有限会社 凜成		
事業所名	グループホーム ひだまりの家	ユニット名	1階
所在地	〒313-0106 茨城県常陸太田市下利員町1086-1		
自己評価作成日	平成26年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成26年10月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0873400378-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年3月20日	評価機関 決 済 日	平成26年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>医療面において、看護師が中心となり毎日の充実したケアが行われているため、利用者の健康管理が徹底されている。ミーティングや朝礼等で職員からの意見を聴き、個々人に合わせたケアの充実を図ることで、穏やかに生活することができるよう支援しており、ご家族面会時には、ご本人の身体的状況および生活状況を伝えているため、コミュニケーションが図れている。また、行事においては、季節の行事を必ず実施するよう努め、季節感を大切にしている。玄関口には、保冷・保温ケースを設置しており、ジュース等の飲料水がいつでも購入できるように整備されている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>山間の静かな場所に開設された事業所で、隣接する同一法人のグループホームと合同で開催する納涼祭では、近隣住民やボランティア、子どもたちに声かけをして参加を得ており、盆踊りやカラオケに参加したり、職員や家族等が作ったカレーや焼きそば、デザートと一緒に食べるなど、楽しく交流している。</p> <p>利用者が楽しめるようにと、近隣住民が事業所のすぐ前の畑の土手に水仙をたくさん植えてくれるなど、近隣住民とは良好な関係を築いている。</p> <p>事業所は基本的な事業所の理念の他、年度毎の目標を全職員で話し合っって作成しており、本年度は「笑顔と思いやりを持って地域に愛される施設を目指します」との目標を掲げ、積極的な姿勢で支援に努めている。</p> <p>代表者は職員のための休憩室を広くとるほか、職員のロッカーを作業動線の中に設置するなど、職員が働き易いように工夫しており、職員同士は助け合っって和気あいあいと利用者の支援にあたっているため、事業所内が明るい雰囲気にもなっている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との交流を意識した理念を掲げ、毎朝、朝礼で唱和している。また、ひだまりの家独自の年間理念を掲げわかりやすい理念を作っている。	「私たちは、ご利用者を尊敬、敬愛し、お1人お1人に合った健やかで穏やかな生活を実現するため、寄り添い、努力を惜しまず資質の向上に努め、地域に貢献します」との地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作成するとともに、「笑顔と思いやりを持って地域に愛される施設を目指します」との年間の目標を全職員で話し合っ作成している。 理念を常に確認ができるよう玄関や事務所に掲示するほか、朝礼時に唱和して共有しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する同一法人のグループホームと合同で開催する納涼祭に近隣住民を招待している。また、その際に近隣住民やボランティア等に踊りや歌など披露していただくなどしている。ボランティアの受け入れも積極的に行っている。	町内会には加入していないが、職員が定期的に行なわれる地域の清掃活動に参加しているほか、利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしている。 隣接する同一法人のグループホームと合同で開催する納涼祭では、近隣住民やボランティア、子どもたちに声かけをして参加を得ており、盆踊りやカラオケに参加したり、職員や家族等が作ったカレーや焼きそば、デザートと一緒に食べるなど、楽しく交流している。 利用者が町内の夏祭りや運動会に招待されて出かけ、運動会では玉入れの競技に参加している。 事業所の誕生会やクリスマス会などの行事の他、日常的にリハビリ体操や日本舞踊、手品、フラダンス、フルートの演奏、折り紙などの手作りの作品づくり、話し相手のボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で自治会長、民生員、市役所職員等に現状を報告し、その説明をしながら地域の方々に認知症への理解を求めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、会議録を作成している。また昨年は、民生委員の方からでた意見を基に災害時に協力が得られるよう地域の消防団を招き、施設内を把握していただいた。次回、消防訓練で参加していただく予定。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、市社会福祉協議会職員、老人会会長、区長、民生委員、市議会議員を委員として、2ヶ月に1回隣接する同一法人のグループホームと同じ日に時間を前後して開催するなど、委員が参加し易いように工夫して開催している。 会議では事業所の状況や行事、外部評価で明らかになった課題などについて報告するとともに、意見交換や話し合いを行っている。 委員から「公民館での高齢者のお茶飲み会に参加してはどうか」との提案を受けたり、ボランティアの受け入れについてや避難訓練に地域住民や消防団の協力を得たい等の相談をしたりして、サービスの質の向上に活かせるよう取り組んでいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	1Fでは後見人制度を利用しているご利用者が入居されているため、毎月担当の方が来所され現状報告している。また、サービスに関する質問等があれば随時電話連絡し、ご指導をいただき、連携を図っている。	市職員が毎回運営推進会議に出席している。 管理者は市担当者に利用料の支払いで困っている利用者の相談やサービスに関する質問などをその都度電話で相談するほか、3ヶ月に1回市役所を会場として開催される市のグループホーム連絡協議会に参加した際に、担当者から情報提供を受けたり、困りごとの相談をして話し易い関係を築けるように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修等で身体拘束について定期的に勉強会を開催し、ミーティングで身体拘束をしないケアを理解し、実践している。	身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成し、年1回身体拘束をしないケアに関する内部研修を実施するとともに、廊下に「身体拘束をしない介護宣言」のポスターを掲示して全職員が身体拘束の弊害を正しく理解できるよう取り組んでおり、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。 現在身体拘束はしていないが、やむを得ず家族等の同意を得たうえで身体拘束をした際には、職員で話し合いを繰り返しながら経過観察を記録して検討を続け、改善へとつなげている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修にて、虐待に当たる言動・行動等について学んでいる。各スタッフが注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	主に管理者間で話し合っている。必要性がある場合には、活用できるよう体制は整えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書および重要事項説明書に基づき説明している。退去に関しては、十分な説明を行い、手続きを実施している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者と共有する時間を大切にするため、昼食を一緒に食べる等接する時間を持ち、意見・要望を聞くよう心掛けている。家族が面会に来られた際にも同様に意見・要望を聞くよう心掛け、玄関口にも意見箱を設置しており、運営に反映させるようにしている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に意見箱を設置している。 利用者からは日々のふれあいの中で、家族等からは来訪時や運営推進会議に参加した時に意見や要望を出してもらえるよう努めている。 利用者の居室にノートを置いて意見を書き込めるようにし、意見や要望等が出た場合には直ぐに対応ができるものについては直ぐに回答し、難しい事に関してはミーティングで全職員で話し合い、結果を記入する等の試みをしているが、更により良い取り組みに向けて試行錯誤している状況である。	居室でのノート記入には家族等に抵抗感があることと、出す家族等が限定されてしまうという危惧があるので、広く意見や要望を汲みあげることができるよう無記名のアンケートを実施することを期待する。 日常的に意見や提案が出た時のためにはノートを準備して記録し、全職員で共有しながら取り組むなど、これからも職員で話し合いながらより良い方法を模索していくことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期ミーティングの開催や朝礼の時などに職員から意見を聞くような体制をとっている。また、職員へ個別に声掛けを行い、意見や提案を引き出すよう心掛けている。	管理者は毎朝の申し送り時や月1回のミーティング時に職員の意見や要望、提案を聞く機会を設けるとともに、日頃から意見等を出し易いような関係づくりに努めている。 長く務めている職員が多く、中堅の職員がパイ役となって、自由に意見等を言えるような人間関係が構築されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年1年間のスタッフの勤務実績を把握し、表彰を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々人の能力を把握した上で社外研修等への参加を促している。また、毎月社内研修を実施し、ケアのスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	常陸太田市のグループホーム連絡協議会などに参加して情報を交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時におけるアセスメントの情報より、入所から慣れるまでは不安なことや要望はないか随時情報把握に努め、可能な限り本人に寄り添い、安心した生活を送ることができるよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族より本人の生活状況や健康状況等の情報を入手し、不安要素はないか、ご家族の要望等に対して、きちんと説明するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時に、施設長、看護師、ケアマネなどと話し合っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「してあげる」関係ではなく、共に生活する一員として働くことを心掛けている。出来ることは寄り添いながら、一緒に行うという考えを大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の事で何か困ったこと、変化があればご家族に報告、相談している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者本人や、ご家族がつぶやいたことを記録するように努め、日々の支援につなげている。	利用者の親戚や以前近所だった知人、利用者の娘さんの友人が来訪している。 家族等の協力を得ながら自宅への帰宅や墓参りに出かけたり、以前利用していた通所介護事業所や馴染みの店へ外食に出かけられるように支援するなど、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの相性やその時の状態を見ながら関わり合いを持てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族との関係を大事にし、支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人お一人のつぶやきを記録し、希望・意向の把握に努めている。また、本人の希望や意向に可能な限り応えられるようミーティングで話し合う機会を設けている。	職員は利用者一人ひとりと話しをする時間を少しでも持つように努めて「電話して欲しい」や「家の様子を見に行きたい」など、利用者の希望や意向の把握に努めるとともに、利用者のつぶやきを記録したり、忘れないうちに居間のボードに書くなど、全職員で共有しながら利用者の思いにそった支援に努めている。 思いを表わせない利用者の場合は家族等から話しを聴いたり、話し方や表情、しぐさなどから思いを汲み取るように務め、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	カンファレンスの中でこれまでの生活歴を把握し、どのようにかかわっていくべきか話し合っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月のミーティングにおいて、看護師および介護職員より情報を収集し、情報の共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族からの要望、ご本人の要望を聴き入れ、介護計画に反映するよう努めている。また、職員から収集した情報も生かし介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の意見や要望を基に計画作成担当者を中心に全職員で話し合っ作成し、家族等の来訪時に説明して同意を得ているが、全家族等から同意を得るまでには至っていない。 作成した介護計画は毎月のミーティング時に経過を話し合っ検討するとともに、6ヶ月毎にモニタリングを行っている。 利用者の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	介護計画は全家族等に確認してもらえるよう工夫して機会を作るなど、同意を得られるための取り組みが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康状態等を把握し、ミーティングや朝礼を通して情報を共有している。また、申し送りノートを活用し、重要項目に関して漏れないよう情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月に1度、整体師の方に来ていただき、皆マッサージを受けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自然が豊かなので気候のいい日は散歩へ出かけている。また買物はドライブを兼ねて車で行く。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族、本人の希望を優先し、受診するよう努めている。特に希望する医療機関がなければ、連携医療機関や近隣の医療機関に受診している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医を担当医としている。 定期的な受診は家族等が付き添い、緊急受診や家族等が付き添えない場合は職員が付き添っている。 受診結果は記録して家族等や全職員で共有している。 必要に応じて協力医療機関の歯科医師による訪問診療も支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、看護師が全員の健康状態をチェックし、また介護職員が気づいたことは速やかに看護師に伝えている。その上で適切な医療が受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には主に看護師などが状況を把握するため、医療機関と連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化し、状況が変わったときは家族と話し合い、またかかりつけ医とも連携し、今後の方針を決めている。対応困難な時は別の施設を勧める等、連携を図りながら支援している。	重度化した場合における対応に係わる指針を作成しているが、事業所は看取りを行わないという方針であり、契約時に事業所でできることとできないことを利用者や家族等に明確に説明するまでには至っていない。 重度化した場合や看取り介護に関するマニュアルを作成するとともに、勉強会を実施して全職員で方針を共有し、段階に応じて家族等との話し合いを重ねながら、重度化や終末期の支援に備えるまでには至っていない。	指針に「重度化した場合でも医療連携体制を強化し、利用者が住み慣れた事業所で最後まで穏やかに、安らかに生活できるよう支援に努めます」とあるので、管理者は重度化した場合や看取り介護に関するマニュアルを作成し、勉強会を行って全職員で方針を共有し、重度化や終末期の支援に備えるよう努めることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時における対応マニュアルを整備し、いつでも対応できるように看護師の指導のもと講習を受け、各自が実践力を身に付けるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を年間行事計画の中に組み入れ、消防団と協議を進めている。	消防署立会いのもと、隣接する同一法人のグループホームと合同で避難訓練を年2回実施しているが、夜間想定や災害時の避難訓練、地区の消防団や地域の人々が参加しての訓練を実施するまでには至っていない。 避難訓練実施後は課題や反省点を話し合っって記録し、改善に努めている。 緊急連絡網を事務室に掲示するとともに、災害の発生に備えて食糧や飲料水、懐中電灯、電池、防寒シート等を備蓄したり、自家発電機を備えたりしている。	地区の消防団や地域の人々の参加を得て、様々な災害や夜間を想定した避難訓練を実施することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本的に敬語で接するよう心掛けています。トイレ誘導等の声掛けも気分を損ねないように配慮し、一人ひとりに合った声掛けをしています。	利用者一人ひとりの人格を尊重した対応に努めており、特に排泄や入浴支援では誇りやプライバシーを損ねないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室のキャビネットに保管し、取り扱いには十分留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けをし本人の意向を聞き出すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の立場に立ち、希望や意見を聴きながら一人ひとりにあったサービスが提供できるように心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に沿うよう身だしなみやおしゃれに気を配っている（着たい服の選択や髪の毛のカット（長さ等）等の選択）。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢化および重度化が進み、以前のように一緒に食事の準備をするようなことは減ったが、おやつ作り、食器洗い等のできることは職員と一緒に実施したり、同じメニューの食事を一緒に食べている。	夕食は配食サービスの献立を利用しているが、朝と昼は職員が利用者の好みや季節の食材を取り入れて調理をしている。 正月やクリスマス、雛祭り、節句、誕生会、父の日、母の日などの行事食や、職員と利用者で作るおやつ、病院受診帰りの外食など、食事が変化に富んだ楽しみなものとなるよう配慮するほか、味付けはだし汁を作って塩分が控え目になるように工夫している。 職員は利用者と一緒に会話をしながら和やかな雰囲気ですることができるよう支援するとともに、利用者は能力に応じて野菜の下ごしらえや下膳、食器拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量、食事量の記録を行っている。また、栄養状態が悪い方には高カロリー栄養剤等でバランス良く栄養が摂取できるよう配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人のケース記録に排泄チェック表がり、それを参考に個人の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄が行えるよう、自立に向けて取り組んでいる。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らいながら声かけやトイレ誘導をしている。 利用者の状態に応じたおむつやパッドの使用を検討し、使用量の軽減に取り組むとともに、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に運動をしたり水分を摂ってもらったりして自力で排泄できるように働きかけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴剤や柑橘類の果物等を使用するなどして、入浴があまり好きではない方も楽しんでいただけるよう工夫している。	利用者一人ひとりの体調や希望にそって週に2回午前と午後に分かれて入浴支援をしている。 入浴剤や柑橘類の果物を利用して寛いだ気分で入浴ができるよう工夫している。 脱衣所に扇風機やストーブを配置して浴室との温度差に気を付けるとともに、浴槽に手摺を設置したり、シャワーチェアを配置して利用者の安全に配慮しながら快適に入浴ができるよう努めている。 入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら言葉かけを工夫し、無理のないように促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	この時期は湯たんぽを使用し、快適に良眠できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申送りノートに申し送り事項を記載し、更に口頭で伝えるなどして間違いのないよう確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月、季節の行事や誕生会を実施し、生活にハリを与えられるような行事を企画・検討している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩や、本人が行きたいところへ行けるよう支援をしている。ただし、安全面に配慮し、必ず職員またはご家族が同行するようにしている。	職員は天候や利用者の体調に配慮しながら、散歩やスーパーへの食材の買い物のために外出ができるよう支援している。 年間計画を立て、近所の神社に初詣に出かけたり、桜や紫陽花の花見、菊祭りや紅葉狩りなどに出かけて気分転換やストレス発散、五感刺激の機会としている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している人はいないが、本人の要望により、買い物等で欲しい物を購入できるよう支援体制は整えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人より要望があった際には、その都度ご家族等に電話連絡している。また、ご家族からの電話は取り次ぎ、ご本人と話しができるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには、ご利用者手作りのカレンダーや絵画を貼って季節感を出している。居室内も安全面および過ごし易い空間となるよう常に整理整頓に配慮している。	居間兼食堂は十分な採光を取り入れるとともに、温度管理をして居心地よく過ごせるよう配慮している。 壁に手作りのぬり絵のカレンダーや利用者の作品を飾るとともに、菜の花などの季節の花や季節毎の飾り付けをして季節を感じながら居心地よく過ごせるよう工夫している。 食堂に続く畳敷きの部屋に炬燵を配置したり、居間にソファやマッサージチェア、廊下に籐椅子を配置し、利用者同士が寛いで過ごせるような環境づくりをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	孤立感を抱かないよう気の合うご利用者同士で過ごすことができるよう配慮している。また、共用スペースで趣味やレクリエーションを実施できるよう工夫している。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族等の協力のもと、お孫さんの写真を置いたり、馴染みのおいなりして居心地良く過ごせるよう工夫している。	居室にはエアコンやベッド、箆笥、収納ケースが備え付けられている。 利用者は使い慣れた寝具類やテレビ、テーブル、鏡台、置時計、家族の写真、観葉植物、手作りカレンダー、ぬいぐるみなどを持ち込み、思い思いに居心地のよい部屋づくりをしている。 部屋毎にドアの色を違って雰囲気を変え、利用者が部屋を間違えないように工夫している。 手先の器用な利用者が、プレゼントすることを楽しみに広告紙で鍋敷きを沢山折るなど、その人らしい生活ができるよう支援している。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に椅子を置いたり、手すりをつけて安全な生活が送れるように支援している。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひだまりの家

作成日 平成26年8月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画は全家族等に確認してもらえるよう工夫して機会を作り、同意を得られるための取り組みが必要。	介護計画書作成後に全家族より同意を得られるようにする。	面会における家族の来訪時だけではなく、面会に来られない方に関しては、電話連絡および書面を同封して介護計画書を郵送し、同意を得る。	6ヶ月
2	10	居室に用意されているノートに意見・要望を記入することには抵抗があり、記入する家族も限定されてしまう。	家族より幅広く意見・要望を汲み取るシステムを取り入れる。	定期的なアンケートを実施し、アンケート結果をミーティングにて話し合い、改善策を検討する。	6ヶ月
3	33	重度化した場合や看取りのマニュアルを作成し、重度化や週末期の支援に備えるよう努める。	重度化および看取りに関するマニュアルを作成する。	可能な限り重度化および看取りに対応出来るよう勉強会を実施し、全職員で情報を共有する。また、家族と話し合いの上、方向性を検討する。	1年
4	35	地区の消防団や地域の方々の参加を得て、様々な災害や夜間想定避難訓練実施する。	地区の消防団および地域の方々に参加を呼び掛け、協力体制を整備する。	地区の消防団および地域の方々に訓練に参加していただけるよう話し合いを実施すると共に運営推進会議等でも参加・協力の呼び掛けを実施。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。